

自治体名	大阪府柏原市
日時	2013年7月18日(木) 18:30～20:30
場所	サンヒル柏原
出席者	柏原市教育委員会、柏原市社会福祉課、スポーツ推進委員、市体育協会、青少年指導員11名
テーマ	スポーツイベントの今後のあり方について
議事要旨	<p>柏原市は40年以上続けている市民体育祭が近年、参加者、種目とも固定化されており、終了を検討している。今回の意見交換会では、誰もが参加できるスポーツフェスティバルへの移行を考えている行政の計画について、関係者から意見を伺った。</p> <p>出席者からの主な意見は以下のとおり。</p> <p>○市民体育祭について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催当初は市内の企業や子ども会、婦人会など多くの参加と応援もあり非常に盛会であった。 ・ 近年は参加申し込みも減少し、ここ数年は行政からPTAに働きかけて参加を促している状況で、PTA関係者のみの動員型イベントになってしまった。 ・ 一般住民の参加は少なく、閉鎖的な環境下での実施となっている。 ・ 参加者が少なく、ひとりで複数種目に参加しているのが目立つ。 ・ PTA役員は毎年変わるため大会運営に一貫性がなく、行政からの働き掛けや対応するPTA役員に負担となっている。 <p>○ニュースポーツフェスティバル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2012年11月に体育協会を中心に体験型スポーツイベントの「ニュースポーツフェスティバル」を開催、十分な周知活動は行わなかったが、多くの参加者から好評を得た。 <p>○市民体育祭からスポーツフェスティバルへ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツを楽しむことを目的とするのか、勝敗を競うことを目的とするのかを明確にすべき。 ・ 参加者を増やすには他のイベントと重ならない日程の開催が好ましい。 ・ スポーツの良さや楽しさを感じてもらうには、競い合いも重要であるが、トップアスリートに直接教えてもらうことも良い経験となる。 ・ 高齢者の参加も視野に入れた内容が好ましい。
まとめ	今回の意見交換会を通し、従来の市民体育祭からスポーツフェスティバルへの移行について、関係者間で様々な意見が行えた。すぐに結果を求めるのではなく、5～10年後も継続するイベントにしていく計画を練っていくことが確認された。